



上産発第 375 号
平成 20 年 10 月 10 日

国土交通省道路局長 様

上 関 町 長 柏 原 重 海



今後の道路行政についての意見・提案について

平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 37 号で依頼のありました件に
ついて、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山口県熊毛郡上関町

道路整備及び維持管理に係わる、国、地方の役割の分担を整理、明確化する。その役割に基づいて、権限や財源の移譲を確実に行う。国土の骨格を形成する高規格道路等のネットワークについては、国家戦略として国の責任（予算）において、優先的に整備を行い、維持管理を行うべきであると考えている。中期計画の策定にあたっては、地方の実態や施策が反映できるルール（各施策（医療、生活道路）に応じたルール、地方間格差がでないルールや事業評価基準）を取決め、そのルールに基づいて策定を行う。ルールの内容等について、国民にしっかり説明を行い理解を得る。

この中期計画で定めた計画については、その時どきの世論調査の結果ばかりに大きく左右されることのないよう、国土政策としての位置づけの確立や確実に実行できる方策を定めていただきたい。

この中期計画で定めた道路の財源については、確実に確保することや道路の管理等に必要な財源(現道路特定財源)についての、財源措置等を講じていただきたい。制度については、地方道路整備臨時交付金のような地方ニーズに弾力的に応えられる仕組みを今後も維持し、さらに拡充していただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１ 地域の現状と抱える課題

山口県熊毛郡上関町

○ 現状

半島部と島しょ部に８つの集落と２つの離島で構成されている。その集落を結ぶ連絡道は地形が急峻なため、カーブや狭隘な道路が多くあり、通勤通学時の通行が危険となっている。また災害時や救急時などにおいて不安な日常生活を強いられている。

高齢化率の高い本町においては、救急医療施設へのアクセス強化や災害時における救急救援ルートなどの代替性の高い道路ネットワークの構築を図ることは、地域の安全・安心を守るために極めて重要である。

○ 課題

地形が急峻なため、道路の建設コストが高くなり、事業費が大きくなることや、狭隘な道路区間が長いということで短期間での施工が難しい

②ー２ 地域の目指すべき将来像

山口県熊毛郡上関町

- ・ 暮らしの支援体制の整備
高齢化が進む中で、通院や日常生活を支援するための拠点、体制、施設整備の支援・強化
- ・ 総合的な保健・医療体制の整備
町民が安心して生活できるよう保健・医療・福祉の連携体制の強化、時代の変化に対応した新たな医療体制の整備（広域医療ネットワーク）
- ・ 若者定住の条件整備
若者定住促進させるため、通勤や生活の利便性を考え整備する。
- ・ 幹線道路を始めとする総合交通体系の整備
地形的な制約を克服するために、港湾、漁港、県道、町道を相互に連携させた整備の推進。生活ニーズに対応した公共交通の充実を図り、集落間の“人”や“もの”の流れの活性化を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施設の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

山口県熊毛郡上関町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	県道光上関線 県道柳井上関線	圏域中心都市へ連絡する幹線道路の整備による地域間の連絡強化（広域圏公共施設の集約、産地から流通経費の削減・スピード化、観光交流の促進、救急医療施設アクセス強化、交通安全の確保） 過疎地域と公共施設を結ぶ道路を整備することにより地域連携強化、公共施設の集中化及び連絡強化、	